

# 道徳科の全面実施に向けて学校全体で取組を進めましょう！

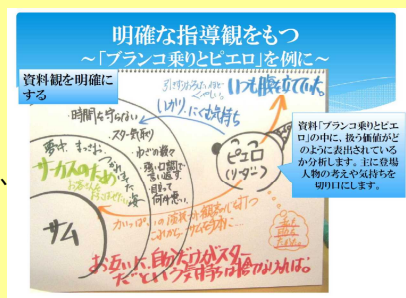
平成30年1月23日（火）渡島合同庁舎を会場に「第2回道徳教育推進教師研修」を開催しました。

## 説明 『特別の教科 道徳』の充実に向けて

北海道道徳教育推進リーダー 藤原 友和 教諭（函館市立万年橋小学校）



- ・児童生徒が授業前と比べて「プラスアルファ」をもてるような道徳の授業をつくりたい。
- ・そのためには、「価値観」「児童観」「資料観」の3つについて教師が明確な指導観をもつことが大切である。
- ・明確な指導観を基に、具体的な学習過程を構想し、効果的な学習となるよう発問を工夫する。
- ・児童生徒の発言や振り返りなどから、一面的な見方から多面的・多角的な見方へと考えが深まっている様子を見取りたい。



## 交流・協議 「『学校全体で取り組む計画的な校内研修』について」

- 藤原教諭に函館市立万年橋小学校での校内研修の実践事例について発表していただいた後、各校の取組についてグループで交流・協議しました。

### 万年橋小学校の実践事例

- ・とにかく授業を見てもらう。
- ・自分が勉強したことや実践したことはどんどん発信する。
- ・必然性のある校内研修の計画を立てる。
- ・授業研究はみんなで取り組む。
- ・話しやすい場をつくる。



たくさんの人と多様な視点から考えを深めるワールド・カフェ形式の指導案検討会



校外研修で学んだことの共通理解を図るポスターセッション形式の研修報告会

### 各校の実践事例

- ・保護者や子どもたちにアンケートを行い、学校の道徳教育の重点化に生かしている。
- ・小学校と中学校で道徳授業について合同研修を行い、小中連携を図っている。
- ・地域公開授業日に道徳授業を行い、道徳の教科化や学校の取組について説明した。
- ・道徳教育推進教師が道徳の示範授業を行った。
- ・授業研究を行い、道徳授業の展開や発問について全教職員で確かめ合った。
- ・道徳通信を発行し、研修会で学んだこと等を全教職員に発信した。

## 演習・協議 「『特別の教科 道徳』の授業づくりについて」

- 小学校部会、中学校部会に分かれて、平成28年度道徳教育推進教師研修講師の大阪府豊能町立東ときわ台小学校 龍神教諭と愛知県愛西市立八開中学校 鈴木教諭の道徳授業ビデオを視聴し、「考え、議論する道徳」につながる工夫改善の具体的な方策について確認しました。

### 協議で確認された主なポイント

- ・教材を読む前に、登場人物や考える視点を示したことで子どもたちが考えやすくなった。
- ・子どもたちの考えや意見を構造的に板書したことで、授業の内容がよく分かった。
- ・自分だったらと考えたくなるような発問や教具を工夫し、子どもたちの意見を中心に授業を組み立てていた。
- ・発問を精選し、中心場面について深く考えさせていた。
- ・話し合いがうまく進まないときには教師が適切に関わり、「もう一度確かめるよ。今日みんなで考えたいことは□□だったね」「○○はどんな気持ちで～したんだろう」など投げかけることで児童生徒の話し合いを深めていた。

### 【参加者の感想】

- ・明確な指導観や学習指導過程の具体的な構想など、「考え、議論する道徳」の授業づくりのポイントについて実践例を交えた説明で分かりやすく学ぶことができた。
- ・学校規模が同じ先生方と各校の現状や実践について交流することで、自校の今後の取組の参考になる実践を多く知ることができた。
- ・龍神教諭の授業実践から、質の高い発問や発問の構成について学ぶところが多かった。今後の授業づくりの中で、子どもたちの考えを引き出す発問づくりに取り組んでいきたい。
- ・鈴木教諭の授業実践から、教師がねらいとする道徳的価値について理解し、生徒の実態を踏まえて適切に関わっていくことが大切だと改めて学ぶことができた。
- ・前回と今回の2回の研修をとおして、全面実施に向けた取組について理解を深めることができた。今回の研修で学んだことを全校で共通理解を図るために、3学期に校内研修を行っていきたい。